

学びの再構築



経済学部長

まつまる かずお
松丸 和夫

経済学部へのご入学おめでとうございます。経済学部は、昨年創立百周年を迎え、今年には経済学部一〇一年目の年に当たります。第二世紀目の歴史とともに歩んでもらえる新入生のみなさんを心から歓迎いたします。

今日、新たに大学生として生活を開始されるみなさんに考えていただきたいことが二つあります。一つは、自分は大学で何を身につけたいのか。二つめは、大学を卒業したら自分はどんな人生を送りたいのかということです。

大学に入学するということは、皆さんご自身はもとより、ご父母やご親族にとっても大きな喜びでしょう。しかし、これから過ごす四年間の大学生生活で、何も身につけるものがないか。あったとしたら大学で学ぶことに何の意味がありますか。

ここにちまで、みなさんは勉強す

るということについてどんな考え方ももってきましたか。やれといわれるから勉強する、勉強とは忍耐力の涵養だ、将来の可能性を開く上で必要だ、勉強をおもしろいと思ったことはない等々、百人百様でしょう。

それはそれで結構なことだと思います。しかし、大学で勉強すること、この本質的な意味は、「みずから課題を発見し、その解を求めろ」とにあるのではないのでしょうか。これまでの勉強に対する姿勢、勉強の方法を一度根本から見直し、大学の学修について深く考えてみましょう。問題に対する正解らしいものをどこからか探してきて、コピー&ペースト（引き写し）することはいただけません。

人の一生は、学びの連続です。「人のための勉強」から「よりよく生きるため」という発想で、大学生にふさわしい学びの再構築にチャレンジしてください。